

令和5年度 9月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和5年9月22日(金)
- ◎開催日時 令和5年9月27日(木) 午後3時15分～午後5時03分
- ◎場 所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 笠原教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、原田教育委員、黒河内教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 三澤教育次長、宮下学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、福與指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・鉛筆画家木下晋さんという画家がおられ、「いのちを刻む」という本があり、この秋、これを読もうと購入した。
- ・お手元の資料は、小牧弥生さんという近代美術館の館長さんが書かれたものですが、2人の教員がその中で登場します。文を読んで、子どもの育ちは、やはり導いてくれる人との関わりがあって、子どもの内側でその育ちがあるのだらうと感じた。
- ・後ほどお読みいただけたらと思います。本日もよろしくお願ひしたい。

3 委員のひと言 北原教育長職務代理者

- ・お手元に昭和初期の小学校5年生の教科書の一部をお配りした。問題を読みますと「横須賀グアム間の距離は1,341海里ある。航続距離300海里の飛行機が横須賀を出て、グアムに行き、直ちに引き返して横須賀に帰った。この飛行艇は、まだ何回の飛行能力を持っているか。」。この飛行艇は3,000海里飛べるので、3,000からその2倍を引けばよい簡単な問題となっている。
- ・子どもたちはこのような問題に触れながら、太平洋を守り、海軍に関する対する関心を深めることも記載されている。非常に簡単な問題ですが、地図を見ながら、飛行艇はグアム島あたりまで行ける、逆に、敵の飛行機が飛び立って横須賀を爆撃するためには、それくらいまで近づけばいいということを創造しながら学習していた。
- ・このことを取り上げたのは、103歳になる私のおじが守屋貞治について教えてほしいとのことと資料を少し送ったところ、手紙をいただいた。「こんなに素晴らしい石工を高遠が生んだということを高遠出身の人たちは大いに誇るべきだと思う。…ここで夜の12時を告げているので続きの文を作るのは朝にする。…」。
- ・叔父が103歳になっても学ぶ力を持っているのは、やはりそういう昔の学びが繋がってきたのかなと改めて思いましたので紹介させていただきました。

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・教育長から資料に基づき報告。

第2 議案

- (1) 伊那市立学校体育施設開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明。
- ・質問、意見はなく、原案どおり決議された

(2) 文化財審議委員の委嘱について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明。
- ・質問、意見はなく、原案どおり決議された

第3 協議事項

教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

- ・教育次長、各課長、各室長から資料に基づき説明。
- ・委員より「例えばNo. 14 の中間教室は新しく教室を確保したので「A」、No15 不登校支援ネットワークの評価はまだまだ課題が多いので「C」としている。同じ方向の事業であり、建物ができて「A」で良いのかと感じた。No. 19 の少年補導委員会・少年補導センターは、声かけ2件であれば「B」よりも「C」、No22 の二十歳のつどいは、参加実績を入れた方が良く、何人中何人確保できたので「A」としていないので「B」評価くらいに感じる。」との意見があり、教育次長から「ご指摘のとおりと思うので、修正すべきところは修正していく。」旨の回答があった。
- ・委員より「No21 の青少年育成対策はコロナウイルスの影響が大きいと思うが、『えがお』が非常に充実しており、数値には表れないが効果があると思われ「B」でよいと感じる。」との意見があった。
- ・委員より「No19 の少年補導委員会・少年補導センターについて、課題としてネット環境の急速な普及により子どもを取り巻く環境が大きく変化しているとされており、WEB上の取締は簡単にできることではないが、新しいネットという部分に踏み出していくことがあってもよいと感じる。また、学校の設置施設の関係では現場の声として、図書館にエアコンがないとお聞きしており、伊那市の全学校の図書館にエアコンが入ったらよいと感じる。」との意見があり、教育長から「エアコンは子どもたちを暑い環境の中に置か内容のするため普通教室に入れたものであり、それが徐々に、よりよい学習環境として空調を整えるようになりつつあり、そういう環境を作っていくことも大事と感じる。」との補足があった。
- ・教育長から「No39 民俗文化の伝承の決算額はゼロとなっているが、この決算額でこれだけの事業をできるのか。」との意見があり、生涯学習課長から「市で予算化していないが、国の補助金があり、市から声をかけて、地区が段取りをして実施している。」旨の回答があった。
- ・教育長から「No19 の少年補導委員会・少年補導センターは内容を見直した方がよいと感じる。」との意見があり、生涯学習課長から「毎週土曜日の巡回以外に信州挨拶運動など多様な活動を行っており回数を増やしているところである。ネット上の課題やそれに対するハードルについては関係者で話をしており、研究していく。」旨の回答があった。
- ・委員より「既存事業についての報告となっているが、コーディネーショントレーニングなど新たな事業の要望はどこへ行えばよいか。」との質問があり、教育次長から「具体的に提案、できれば国や財団の補助が活用できるような提案を、予算編成までにいただきたい。」旨の回答があった。
- ・教育長から「評価委員会のスケジュールはどうか。」との質問があり、事務局から「10月4日に1回目で説明、10月30日に意見集約を予定している。」旨の回答があり、教育長から「議会の報告は12月を予定している。」旨の補足があった。

第4 報告事項

(1) まほら伊那市民大学の事業報告について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明

(質問・意見なし)

(2) 人権同和教育事業について

- ・社会教育指導員から資料に基づき説明
- ・教育長から「人権同和教育講座講演会の様子は『えがお』にも掲載する予定はあるか。」との質問があり、社会教育指導員から「取材して掲載する予定である。」旨の回答があった。

(3) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
- ・教育長から「業務委託先の選定委員会のメンバーはどのようになるか。」との質問があり、市誌編さん室長から「教育長、次長、編さん員会の委員長、2人の副委員長、事務局というメンバーで考えている。」旨の回答があった。

(4) 10月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- (質問・意見なし)

(5) 共催・後援について

- ・宮下学校教育課長から資料に基づき説明
- (質問・意見なし)

(12) その他

- 伊那市立高遠町歴史博物館開館記念日について
 - 東京藝大音楽学部附属音楽高等学校伊那コンサートについて
 - ・生涯学習課長から説明
- (質問・意見なし)

5 その他

(1) 10月の日程について

(2) 11月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明
- (質問・意見なし)

6 閉 会